



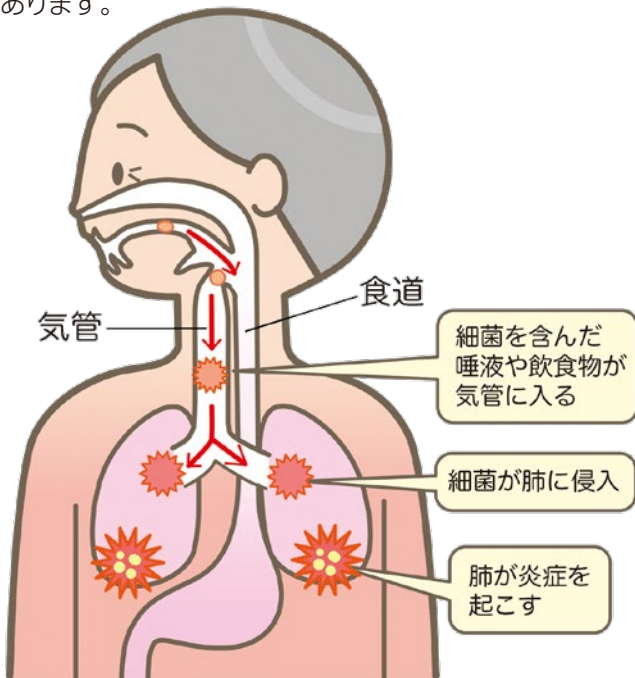
# ごえんせいはいえん 誤嚥性肺炎について



## 誤嚥性肺炎とは

誤嚥性肺炎とは、誤嚥によって生じる肺炎のことで、主に口腔内の細菌が気管へ入ってしまうことが原因となります。そのため、他者から感染して起きるものではありません。

誤嚥は、老化や脳梗塞の後遺症などによって嚥下機能（飲み込む機能）や咳をする力が弱くなったことで起こりやすくなります。食事のときに誤嚥を起こしやすいですが、睡眠中にも唾液が気管へと流れ込んで起きることがあります。



## 症状

発熱、咳、膿のような痰、呼吸苦などが典型的な肺炎の症状です。ただし高齢者では、これらの症状がなく、元気がない、食欲がない、失禁をするといった症状のみがでることもあります。

誤嚥をした場合、食事中であればむせたり、食後に咳が続いたりすることが多いです。胃ろうなどの経管栄養法を使用している場合でも、逆流によって誤嚥が起こることはあります。

睡眠中などに起きる誤嚥では、むせる、咳をするといった症状が起こらないことがあり、不顕性誤嚥（ふけんせいごえん）と呼ばれます。

## 治療と予防

抗菌薬を用いた薬物療法が基本となります。ただし、肺炎を治療できても誤嚥が起こりやすい方では、繰り返し発症するリスクが高いです。そのため、予防も行うことが重要となります。

嚥下機能の維持・向上のためのリハビリテーションを行うことや、食事方法の改善（よく噛む、ゆっくり食べる、しっかりと上体を起こす、食事中に話をしない、食後に横にならない）を行うことで誤嚥の予防となります。それ以外にも口腔ケアを行い、口腔内の細菌を増やさないことも重要です。

また場合によって、誤嚥した時に咳を起こしやすくするために、ACE阻害薬※が用いられることもあります。

※ACE阻害薬…主に血圧を下げる薬として使用されている。副作用に「空咳」があるが、これを逆手にとって誤嚥の予防に使われることがある。



## 【参考】

高齢者感染症ナビ

[https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/senior\\_navi/senior\\_navi.html](https://www.shionogi.com/jp/ja/sustainability/informations-for-id/senior_navi/senior_navi.html)

A-12 誤嚥性肺炎 - A. 感染性呼吸器疾患 | 一般社団法人日本呼吸器学会

<https://www.jrs.or.jp/citizen/disease/a/a-12.html>